



鍛造環付フックの安全な取り扱い方

POINT

フックの使用上の注意／点検と廃棄



使用上の注意

- ❶ 基本使用荷重 (WLL〇tと刻印) 以内でご使用ください。
- ❷ 荷重は、フックの中心に正しくかかるよう使用してください。
 - 先端荷重 (図1)、フックを吊り荷に巻きつけた状態 (図2)、フックが固定された状態でのフックの横荷重 (図3) での使用はしないでください。
- ❸ 衝撃荷重はかけないでください。
 - 地切および着地は、思いがけないオーバーロードが発生します。特に注意してください。
- ❹ 下記のような追加改造をしないでください。
 - 機械加工、加熱等によりアイ部、フック部の拡大、変形を行うこと
 - 熱処理の追加
 - メッキ加工の追加
 - 溶接しての使用
- ❺ 熱影響を受ける環境や薬品・酸等を用いる環境での使用は、著しい強度低下の原因になりますので、状況に応じてサイズを引き上げるかステンレス鋼のフックを使用してください。
- ❻ 溶接作業のアース代わりになる使用はしないでください。
- ❼ 持ち運びの時、引きずったり放り投げたりしないでください。(変形、摩耗、外れ止め破損の原因になります。)
- ❽ 雨露にさらしたり、湿気のある場所への放置はしないでください。(発錆、摩耗の原因となります。)
- ❾ 水中および冠水状態での使用は基本荷重が大きく減少します。

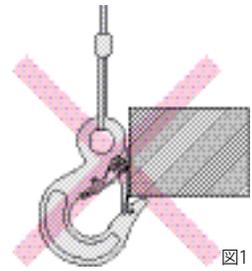


図1



図2

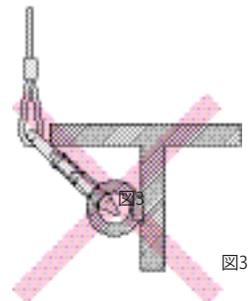
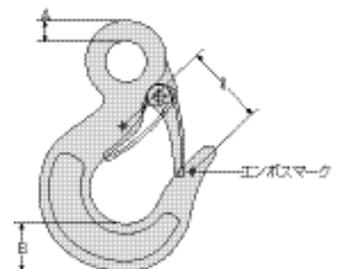


図3

点検と廃棄

- ❶ 下図に示すエンボスマークがあります。ノギスで測定し、使用後のエンボスマークが基準寸法 (ℓ) より大きいものは、使用しないで廃棄してください。(永久変形が発生。)
- ❷ AおよびB寸法が、標準寸法を越えて摩耗しているものは、使用しないで廃棄してください。
- ❸ 亀裂が発生しているものは、使用しないで廃棄してください。
- ❹ 腐食または摩耗により肉厚の減少が5%以上こえたものは使用しないでください。
- ❺ アークストライク (溶接によるアース傷) のあるものは、使用しないでください。
- ❻ 外れ止めの効果のなくなったものは、外れ止めを取り替えて使用してください。



■ 基準寸法表

寸法	サイズ	0.32t	0.5t	1t	2t	3.2t	5t	10t	16t	20t
ℓ (mm)		37.5 ^{-0.5} / ₊₁	42 ^{-0.5} / ₊₁	52.5 ^{-0.5} / ₊₁	62 ^{-0.5} / ₊₁	69 ^{-0.5} / ₊₁	89 ^{-0.5} / ₊₁	106 ^{-0.5} / ₊₁	146.5 ^{-0.5} / _{+1.5}	163 ^{-0.5} / ₊₂
A (mm)		8.5 ⁰ / _{-0.5}	10 ⁰ / _{-0.5}	13 ⁰ / _{-0.5}	16 ⁰ / ₋₁	20 ⁰ / ₋₁	26 ⁰ / ₋₁	34 ⁰ / ₋₁	40 ⁰ / ₋₂	46 ⁰ / ₋₂
B (mm)		19 ⁰ / ₋₁	23 ⁰ / ₋₁	27 ⁰ / ₋₁	37 ⁰ / ₋₁	41 ⁰ / ₋₂	55 ⁰ / ₋₂	80 ⁰ / ₋₃	95 ⁰ / ₋₃	105 ⁰ / ₋₃